

平成27年6月30日
国土交通省東北地方整備局
磐城国道事務所

未来の土木技術者が工事現場体験 ～相馬農業高等学校生が阿武隈東道路を見学～

平成27年7月2日（木）、一般国道115号阿武隈東道路の（仮）^{たまの}玉野トンネルを福島県立相馬農業高等学校環境緑地科の生徒さんが見学いたします。

この見学会は、若年者の建設現場見学会並びに建設現場実習の一環として、一般社団法人福島県建設業協会の主催によるものです。

未来を担う若き技術者の皆さんに、実際の工事現場を身近に知ってもらい、これを機会に建設業への理解も深まればと考えております。

1. 日時 平成27年7月2日（木）10:30～11:30

2. 場所 一般国道115号阿武隈東道路

①（仮）^{たまの}玉野トンネル

3. 見学者 福島県立相馬農業高等学校 環境緑地科 2年生 20名

発表記者會等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、
福島建設工業新聞、南相馬市役所記者クラブ

問い合わせ

◆事業に関する事

国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所
TEL 0246-23-2211（代表）
副所長 千葉 富彦（内線204）
工務課長 岩渕 誠（内線411）

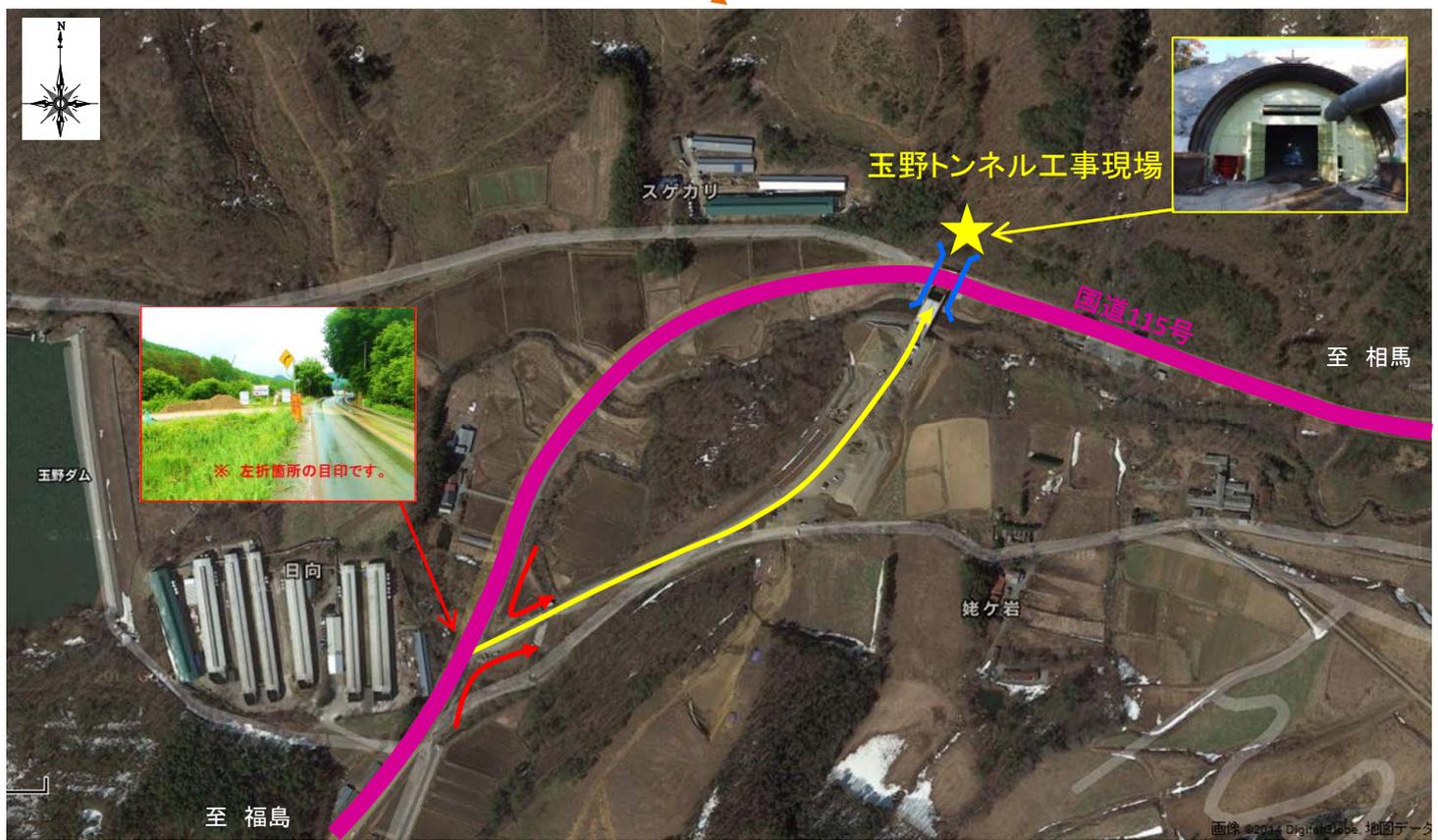
◆見学会に関する事

一般社団法人福島県建設業協会
TEL 024-521-0244
浅野 聡一

位置図



拡大図



国道115号 ^{たまの}玉野トンネル工事概要

(平成27年6月現在)

■ 工事概要

工事名：国道115号 玉野トンネル工事

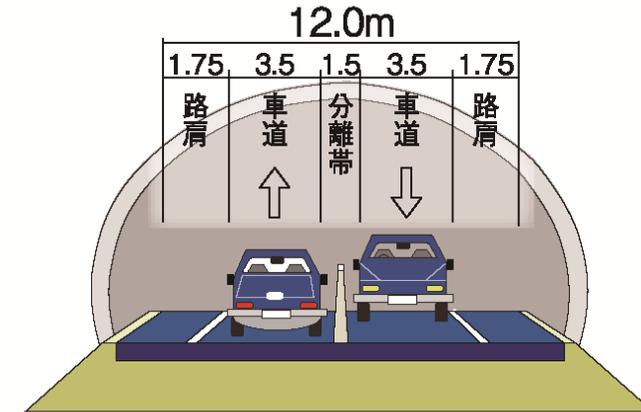
施工場所：福島県相馬市玉野字東玉野 地内

工事内容：トンネル延長 L=968m (6月28日現在532m)

道路幅員 W=12.0m

NATM工法 (新オーストリアトンネル工法)

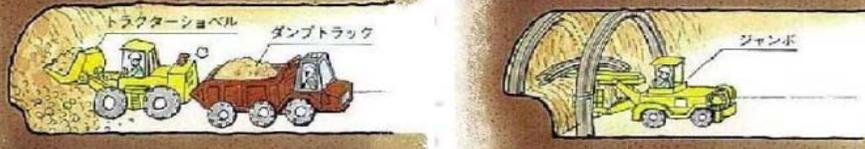
トンネル幅員



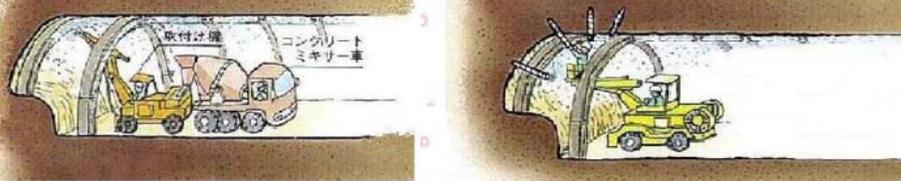
3ブームホイール式ジャンボ



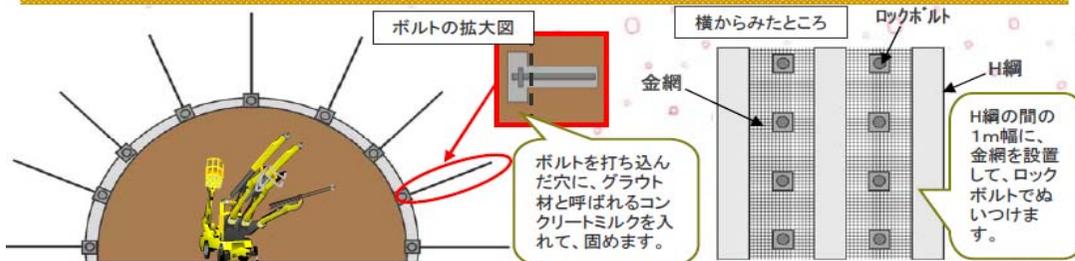
①ドリルで穴を開け、そこに火薬をつめて爆発させ、岩を砕きます。



②砕いた岩を外に運び出し、トンネルが崩れないように金属の支えを一定間隔で設置します。



③すぐに固まるコンクリート(厚さ20cm)を吹き付けて、表面を安定させます。



トンネル施工状況写真

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道
国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道
(伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)



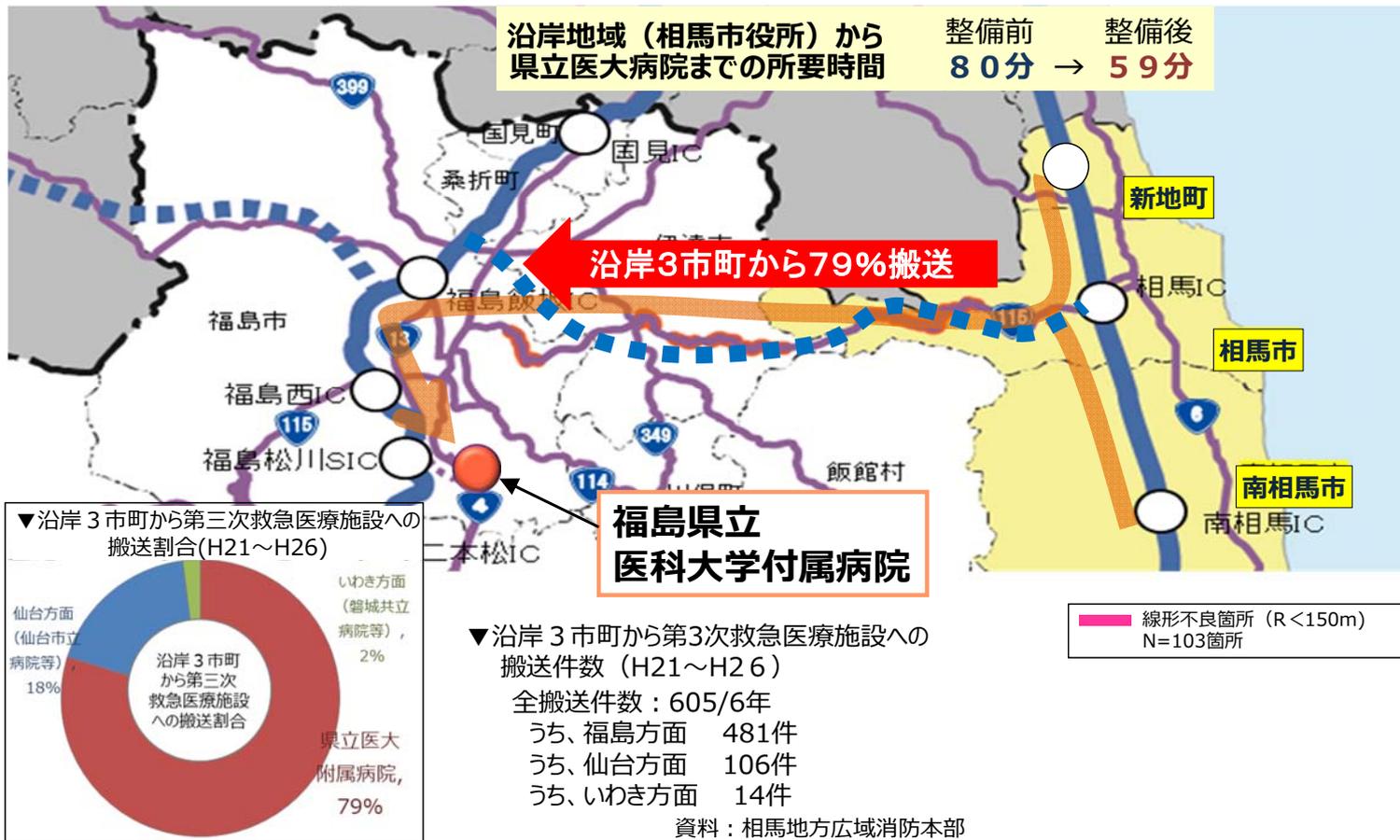
国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止15回/16年)

※H11～H26

- 緊急輸送道路 (第一次確保路線)
- 防災上の対策が必要な箇所 (26箇所)
- 通行止リスク箇所
- 津波浸水被害エリア

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



相馬港